

救急集中治療医学

【実習目標】

一般目標：

- ① 高度救命救急センター(ICU, ECU, HCU, 救急外来)実習により基本的な救急・重症患者の診療を理解する
- ② 救急・集中治療・災害医療・緊急被ばく医療の仕組みを理解する
- ③ 病院前救護、救急搬送の実際を理解する
- ④ ドクターヘリシステムの意義を理解する
- ⑤ チーム医療, 医療倫理, 医療経済を理解する

行動目標：

- 1) 高度救命救急センター・集中治療部 (ICU, ECU, HCU, 救急外来) での実習
 - ① 救急初期診療の基本を述べる
 - ② ICU 入室患者の2週間の身体所見, 重症度スコアの変化を把握し治療経過を知るとともに, 報告書にまとめる
 - ③ 救急集中治療科カンファレンスで症例に関する質問に答える(画像など)
 - ④ 基本的な検査所見を解釈する
 - ⑤ 基本的な救急手技(救急科専門医に必要な手技より選択) および薬剤について, 実技や実際の処方を見学し, 成書で確認しまとめるとともに, 担当教員に指導を仰ぐ
 - ⑥ 担当症例について, 診療経過の詳細及び文献等で学習した内容を PPT 形式にまとめる
- 2) 二次救命処置・集中治療・外傷救命処置・災害医療・緊急被ばく医療
 - ① シミュレータを用いて心肺停止に対する二次救命処置 (ALS) を修得する
 - ② 重要な救急疾患 (敗血症, 急性呼吸不全等) の治療の基本を修得する
 - ③ 集中治療・外傷救命処置の基本を述べる
 - ④ 災害医療・緊急被ばく医療における一般的対応を述べる
- 3) 救急隊との連携
 - ① 病院前救護および蘇生室における救急隊員との連携を述べる
- 4) ドクターヘリ実習
 - ① ドクターヘリの特徴, 適応, 期待できる効果について述べる
- 5) 情意領域
 - ① 患者やその家族の心情を共有する
 - ② チーム医療, 医療倫理, 医療経済, 終末期医療を学び, 医療人としての自覚を育む

1. 集合場所など

- 1) 実習初日は、中央研究棟3階 救急集中治療医学研究室へ集合する。集合時刻は別途 Bb9 のスケジュール表にて通知する
- 2) 実習中は、病棟を離れない（昼食は入院棟医師控室内でとる）。万が一病棟を離れる場合は、必ずその日の急患責任者医師の許可を得る

2. 臨床実習

- 1) 救急集中治療科のカンファレンス（朝 8:15～、夕 16:15～）に参加する
- 2) 新規救急患者の初期診療に立ち会う
- 3) 実習中（日勤・夜勤ともに）は病棟内で実習し、医師控室や研究室に引きこもらない
- 4) 質問等はチーム医師、研修医に行う

3. 症例プレゼンテーション

- 1) 担当患者の2週間の臨床経過（身体所見、検査所見、治療内容）をまとめる
- 2) 病態相関図を考察してまとめる（重要）
- 3) 医学文献（出典を明記する。出典不明なインターネット情報は不可）を引用して、症例から学んだ問題点・今後の課題を考察する
- 4) テンプレートの PPT ファイルを用いて、実習最終日に発表する。プレゼンテーションの技術（声の大きさ・抑揚、ポインタの使い方、目線、制限時間など）も練習する

4. ALS（二次救命処置）実習

- 1) 臨床実習入門プログラムの資料を事前学習しておく
- 2) BLS, ALS, Primary survey, バッグバルブマスク換気法, 除細動器の使用方法をシミュレーション実習する
- 3) 3) 実際の心肺停止症例において蘇生手技を行う
- 4) 最終日に ALS の技能評価試験を受ける

5. レポート

- 1) 内容：
 - ① ミニテスト
 - ② 症例プレゼンテーション（PPT ファイル）
 - ③ 救急薬剤・手技レポート（Word ファイル）
 - ④ 研修医配属・救急集中治療科レジデント配属レポート（Word ファイル）
 - ⑤ チーム回診レポート・病棟実習レポート（Word ファイル）
 - ⑥ その他：オンライン実習時等では別途課題がだされる
- 2) 提出期限；第2週目金曜日総括時

【指導教員】

志馬 伸朗	教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
廣橋 伸之	教授（原医研 放射線災害医療開発）
大下 慎一郎	准教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
太田 浩平	診療准教授（講師）（病院 高度救命救急センター）
東 真弓	講師（病院 集中治療部）
錦見 満暁	診療講師（医系科学研究科 救急集中治療医学）
菊谷 知也	助教（医系科学研究科 救急集中治療医学）
田邊 優子	助教（病院 高度救命救急センター）
板井 純治	助教（病院 集中治療部）
石井 潤貴	助教（病院 集中治療部）
京 道人	特任助教（放射線災害医療総合支援センター）
岡崎 裕介	特任助教（放射線災害医療総合支援センター）
西田 翼	特任助教（病院 危機医療センター）
内海 秀	特命助教（病院 高度救命救急センター）
難波 剛史	特命助教（病院 高度救命救急センター）

【評価の方法と基準】

評価項目	配点
指導医による行動内容の評価	55
担当症例の診察記録	5
臨床レポート(手技、薬剤等)	35
ALS 技能評価試験	10
症例プレゼンテーション	30
計	135

それぞれの実習毎に担当教員が"知識"および"実習態度"について評価する

総合計点が 81 点未満(100 点満点換算で 60 点未満)は不合格とする

極端に点数が低い項目がある場合、レポートの剽窃、極端なアンプロフェッショナル行動の指摘があった場合にも不合格となる。

【医局連絡先】

研究室直通 TEL: 082-257-5456 (平日 9:00~17:00)

(※時間外の緊急連絡は下記にメールすること。教員の個人メールアドレスに連絡はしない。)

研究室 E-mail: kyukyu@hiroshima-u.ac.jp